動画紹介

最低賃金引上げの訴え

全労連・国民春闘共闘が会見　日本テレビが報道

議論本格化前に引き上げ訴え

6月11日、全労連・国民春闘共闘委員会は厚生労働省で会見し、最低賃金の水準で働く労働者の実態を訴え、全国一律の最低賃金・時間給1500円をめざして今年の改定で大幅に引き上げ、現状の大幅な地域格差の縮小を求めた。この会見は日本テレビの「日テレ NEWS24」で報道され、マイクロソフトのニュースサイト（ｍｓｎ）でも配信された。配信されたのは1分7秒の簡潔な動画で「議論本格化を前に“最低賃金引き上げ”訴え」のタイトルで「今年の最低賃金の引き上げの議論が本格化するのを前に、最低賃金に近い時給で働く労働者らが引き上げを訴えた」と紹介。

国民春闘共闘委員会・全労連の文字を背景に、出版労連・出版取次ユニオン事務局長の鈴木真貴さんがマイクを持ち「「ランチだとみなさん５００円とか、それぐらいでお昼とか食べたりしてると思うんですけど、私たちの職場の同僚は１００円です。１００円の１コインで食べてる」と訴え、ナレーションが「会見に参加した出版流通業の下請け会社で働く鈴木さんは、男性より低い時給で働き始め、勤続９年でも賃金の引き上げが一度もないと訴えた」と紹介。

続いて、全労連の黒澤事務局長がパネルをもって映し出され「全労連・国民春闘共闘委員会の黒沢事務局長によりますと、最低賃金に近い時給で働く女性は、男性の2・7倍にあたるということです」と説明。黒澤事務局長が「最低賃金を全国一律にし、格差を是正し最低賃金を引き上げることで、大変低い賃金に置かれている介護士や保育士などの女性の賃金を底支えすることが求められている」と訴えた。

動画リンク　議論本格化を前に“最低賃金引き上げ”訴え（msn.com）

介護士、保育士、清掃労働者が実態を訴え

「日テレ NEWS24」は4月16日にも「介護士ら『最低賃金アップ』訴え　背景には」のタイトルでニュース動画を配信している。この動画では「『時給902円』これは、…「最低賃金」の全国平均の金額です。…この金額を引き上げてほしいと、介護やごみ収集の現場で働く『エッセンシャルワーカー』たちが声を上げました」紹介し、夜8時ごろ街中で車いすを押す介護福祉士の上野さん（39歳）が「食事とか排泄トイレのケア、入浴が難しい方もいるので…耳の遠い方もいる…表情とか身体の状況を見ながらやるのでどの場面も大事…」と実態を訴え、月収15万円で働く29歳の保育士、月収18万円の清掃員（47歳）が登場し、担当する業務の重要性と大変さ、それに比べて賃金があまりにも低く経済的不安を抱え続けている実態を訴えている。

動画リンク　介護士ら「最低賃金アップ」訴え　背景には｜日テレ NEWS24

なお、国民春闘共闘は、4月15日に厚生労働省で行った記者会見の動画（60分）を YouTube で公開している。動画リンク　国民春闘共闘　4月23日　記者会見